

(別紙4(2))

事業所名: グループホームうたし

目標達成計画

作成日: 令和4年2月14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束適正化委員会、研修会等を通じ身体拘束をしないケアに取り組んでいるが身体拘束の三原則の理解に曖昧さがみえる。	身体拘束の「やむを得ない場合」の三原則を職員全員がしっかりと理解する。	これまでも身体拘束に関する研修を開催していたが、これまえ以上に身体拘束の「やむを得ない場合」の三原則を詳しく解説し理解をしていく。	12ヶ月
2	35	自然災害対策計画に対する周知の曖昧さと、訓練実施結果の検証記録に参加職員の記載がなかった。	自然災害対策計画の職員への周知を行う、訓練実施結果の検証記録に参加職員の記載をする。	今後BCP策定に向け職員全員で取り組み、自然災害対策計画についても職員全員に再度周知を行う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。